心拍計測機能対応システム

138-8015型
138-8016型

もくじ

心拍計測機能対応システムの特徴 ‥‥‥ 1
必ずお守りください ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2
各部のなまえとはたらき ‥‥‥‥‥‥‥ 3
使いかた
　心拍数を測るために ‥‥‥‥‥‥‥‥ 5
　心拍数計測時のリモコン表示について ‥‥‥ 6
　設定を変更する ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 7
　（心拍数表示 自動/手動）
日常のお手入れ ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 9
故障・異常かな？と思ったら ‥‥‥‥‥ 10
アフターサービスについて ‥‥‥‥‥‥ 13

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスの心拍計測機能対応システムをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
　この取扱説明書は心拍計測機能対応システムに関する取扱説明書です。給湯暖房機およびユニットバスの取扱説明書と併せてお読みください。
　なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●この説明書は、給湯暖房機およびユニットバスの取扱説明書と併せていつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8545

SAQ8545　T

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添　大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

おねがい　ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

心拍計測機能対応システムの特徴

おふろで心拍数が測れます

◆浴槽につかるだけで簡単に心拍数が測れます。
体(心臓)から発生した電気信号を、浴槽のお湯を介して浴槽の心拍センサー部で検出し、リモコンに心拍数を表示します。
※心拍センサーの金属部に電気を流すものではないので、感電のおそれはありません。
心疾患のある方にも安心して入浴していただけます。

◆浴室リモコンと台所リモコンの両方に表示します。
ご本人だけでなく、ご家族でもチェックができます。
(表示するための操作は、浴室リモコンでおこないます)

◆インターホンリモコンで浴室と台所でコミュニケーションをとることができます。
※インターホンの使用方法については、インターホンリモコンの取扱説明書をお読みください。

くわしくは「使いかた」(☞P5〜8)をお読みください。

【ご注意】

・本製品は、入浴された方の心拍数を計測してリモコンに表示するもので、お客さまの安全を監視するものではありません。
心拍数を計測してリモコンに表示する以外の機能は一切ありません。
・本製品は事故を防止するものではありません。
あくまでも体調管理・健康管理の補助的機能としてご利用ください。
・本製品は薬事法に定める医療用具ではありません。
測定値はあくまで目安としてご使用ください。
・何らかの要因で、心拍数を測れない場合があります。(☞P5)

必ずお守りください

お使いになる方や他の方々への危害・財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

必ずおこなう	禁止	分解禁止

⚠注意

心拍センサー部、リモコンの分解・修理・改造をしない
故障の原因になります。

製品の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する
故障の予防のため。

心拍センサー部の掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤は使わない
変形・劣化の原因になります。

お願い

入浴時(心拍数を計測したい時)は、浴室リモコンまたは台所リモコンを運転「入」にする
運転「切」ではセンサーが作動しません。

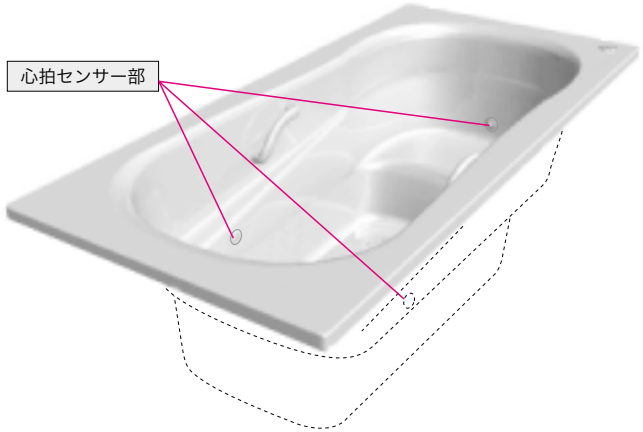
入浴時(心拍数計測時)は、心拍センサーの金属部に直接さわらない
危険はありませんが、体から発生する心電信号を正しく検出できません。

心拍センサー部は、こまめにお手入れする(☞P9)
心拍センサー部が汚れていると、体から発生する心電信号を正しく検出できない場合があります。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない
水質によっては、機器を腐食させたり、心拍数を計測できない場合があります。

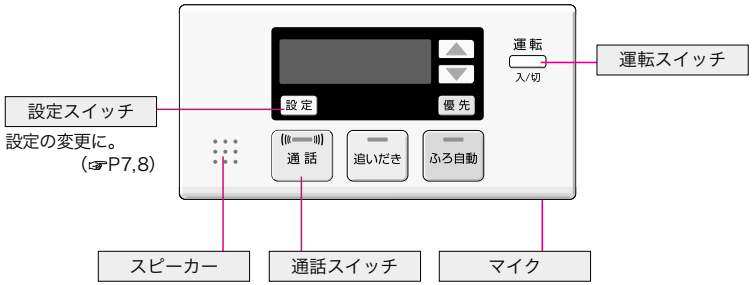
各部のなまえとはたらき

浴槽（心拍センサー部）



浴室リモコン

ここでは一部分のみ説明しています。（その他は、給湯暖房機の取扱説明書をご覧ください）



設定スイッチ
設定の変更に。
（☞P7,8）

運転スイッチ

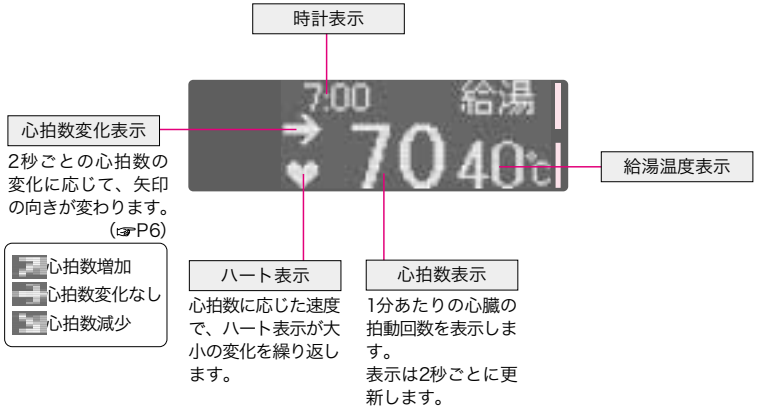
スピーカー

通話スイッチ
押すと台所リモコンと通話できます。

マイク
下にあります。

浴室・台所リモコン 表示部

ここでは表示の一例のみ説明しています。
その他の表示については、各説明ページをご覧ください。



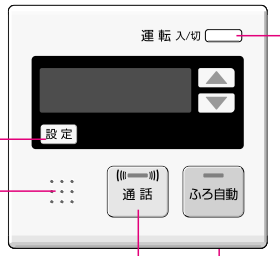
心拍数変化表示
2秒ごとの心拍数の変化に応じて、矢印の向きが変わります。
（☞P6）

ハート表示
心拍数に応じた速度で、ハート表示が大小の変化を繰り返します。

心拍数表示
1分あたりの心臓の拍動回数を表示します。
表示は2秒ごとに更新します。

台所リモコン

ここでは一部分のみ説明しています。（その他は、給湯暖房機の取扱説明書をご覧ください）



運転スイッチ

設定スイッチ
設定の変更に。
（☞P7,8）

スピーカー

通話スイッチ
押すと浴室リモコンと通話できます。

マイク
下にあります。

使いかた

心拍数を測るために

1 浴室リモコンまたは台所リモコンを、運転「入」にする。

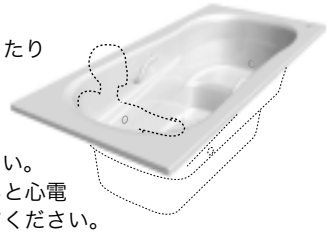
運転「切」では心拍数を測れません。

2 浴室リモコンで設定スイッチを押すと、「心拍数表示 する/しない」の設定画面になるので、「する」を選択する。

※この設定をしなくても自動的に心拍数表示する設定もできます。(☞P7,8)

3 たっぷりのお湯にゆったりつかる。

左右に心拍センサーがある側の背もたれにゆったりと座ってください。
その際、水位が低いと心臓からの心電信号を検出できない場合がありますので、胸または上腹部以上に水位がある状態で入浴してください。
また、心拍センサーの金属部に直接体が触れると心電信号を検出できないので、触れないようにしてください。



4 心拍数計測開始。

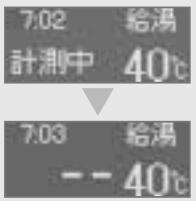
次のような場合、心拍数が測れなくなる(または測りにくくなる)ことがあります。

・心拍センサーの金属部(中央部)に直接体が触れた場合
・入浴中に体を動かしたり、左右の心拍センサーから体を遠く離した場合
・浴槽のお湯の水位が低い場合(胸または上腹部以上に水位がある状態で入浴してください)
・心拍センサーに異物が付着したり、汚れている場合
・2人以上で入浴した場合
・小学生以下のお子さま
・浴槽のお湯が電解質を多く含む水質の場合(水道水をご使用ください)
・入浴剤によっては測りにくくなることがあります(うまく測れない場合は入浴剤を控えて様子を見てください)
・不整脈の激しい方や心疾患のある方(または疑いのある方)
・浴槽のお湯に汗などが大量にとけ込んでいたり、極端にお湯が汚れている場合
・浴槽内に金属製のもの(金ダライなど)を入れている場合
・浴槽外の金属製のもの(カランなど)に手など体が触れている場合

使いかた

心拍数計測時のリモコン表示について

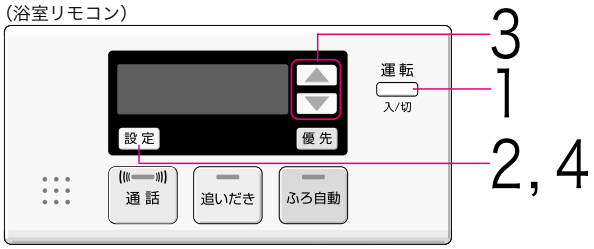
リモコン表示は以下のようになります。(例)
心拍数表示は2秒ごとに更新します。

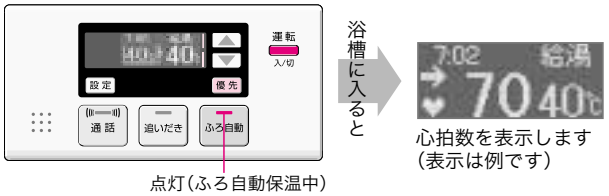
浴室リモコンの表示	台所リモコンの表示	状　態
		(更新前の心拍数表示の値と比べて) 心拍数に変化がない状態 (矢印が水平)
		(更新前の心拍数表示の値と比べて) 心拍数が増加している状態 (矢印が右上向き)
		(更新前の心拍数表示の値と比べて) 心拍数が減少している状態 (矢印が右下向き)
		いったん心電信号を検出した後、心電信号が検出できなくなった状態 (矢印が消える) 心拍数を計測した後で動いたり、浴槽から出たりした場合です。
		心電信号を検出できない状態が継続した場合 約1分たつと、心拍数の表示を終了します。
		「心拍数表示/する」を選択した後、心電信号を検出しなかった場合 すぐに浴槽に入らなかった場合などです。 その後そのまま検出しなかった場合、浴室リモコンの「計測中」が「ー ー」点滅になり、約1分たつと心拍数の表示を終了します。

使いかた

設定を変更する(心拍数表示 自動/手動)

(浴室リモコン)

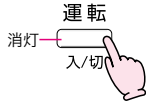


次のような設定の変更ができます　(浴室リモコンで設定できます)		
心拍数表示	自動	浴室リモコンで「心拍数表示/する」を選択しなくても、入浴すると自動的に心拍数の表示をします。(ふろ自動保温中のみ)  点灯(ふろ自動保温中) 心拍数を表示します (表示は例です)
	手動	浴室リモコンで「心拍数表示/ する」を選択しないと、心拍数の表示をしません。(☞P5)

※ここでは心拍計測機能対応システムに関係する設定のみ記載しています。
その他の設定の変更については、給湯暖房機の取扱説明書をご覧ください。

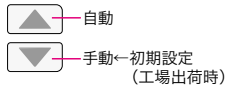
1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、設定の変更ができます。



2 設定スイッチを押す

3 選択スイッチで変更する



4 設定が完了すれば 設定スイッチを押す

続けて他の設定を変更する場合(☞給湯機器の取扱説明書)は、再度2～4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま約20秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

日常のお手入れ

お手入れ(月１回程度)

心拍センサー部

心拍センサー部に汚れがつくと、正しく心拍数を計測できなくなることがありますので、スポンジや柔らかい布などでこまめにお手入れしてください。

＊心拍センサー部の掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤、カビ取り剤などを使用しないでください。
　劣化・変形する場合があります。

リ モ コ ン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

＊リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
　変形する場合があります。
＊浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水やお湯をかけないでください。
（台所リモコンは防水タイプではありません。）

故障・異常かな？と思ったら-1

心拍数を表示しない	＊浴室リモコンで「心拍数表示/する」の設定をしていますか。 →心拍数表示の手動設定の場合(☞P7,8)、浴室リモコンで「心拍数表示/する」の設定をしないと、心拍数の表示はしません。
浴室リモコンで 設定スイッチを押したのに 「心拍数表示　する/しない」 画面(☞P5)にならない	＊リモコンは運転「入」になっていますか。 ＊販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
心拍数を自動表示しない	＊浴室リモコンで心拍数表示を「自動」に設定していますか。 →浴室リモコンで心拍数表示を「自動」に設定してください。(☞P7,8) ＊ふろ自動保温中(ふろ自動ランプ点灯中)ですか。 →心拍数表示を「自動」に設定している場合(☞P7,8)、おふろの自動沸かしが完了し、ふろ自動保温中(ふろ自動ランプ点灯中)のみ、心拍数を表示します。 ふろ自動スイッチのランプが点滅中(自動沸かしの途中)では、心拍数は自動表示しません。この場合に表示したいときは、設定スイッチを押し、「心拍数表示/する」に設定してください。
心拍数を計測しない (心電信号が検出できない場合)	＊以下のような場合、心拍数が正確に計測できなくなることがあります。 ・心拍センサーの金属部(中央部)に直接体が触れた場合。 →左右に心拍センサーのある側の背もたれにゆったりと座ってください。 通常の姿勢では、心拍センサーに体が直接触れることはありません。 ・入浴中に体を動かしたり、左右の心拍センサーから体を遠く離した場合。 →左右に心拍センサーのある側の背もたれにゆったりと座ってください。

（つづく）

故障・異常かな？と思ったら-2

（つづき）

心拍数を計測しない （心電信号が検出できない場合） （つづき）	＊以下のような場合、心拍数が正確に計測できなくなることがあります。（つづき） ・浴槽のお湯の水位が低い場合。 →胸または上腹部以上に水位がある状態で入浴してください。 ・心拍センサーに異物が付着していたり、汚れている場合 →P9を参照の上、清掃してください。 ・2人以上で入浴されている場合、心拍センサーに近い側の人の心拍数を優先的に計測しますが、このような場合正確に表示できない場合があります。 ・小学生以下のお子さまは、心拍数を正確に計測できない場合があります。 ・浴槽のお湯が電解質（電気を流す作用のある不純物）を多く含む水質の場合、心拍数を計測しにくくなることがあります。 →水道水をご使用ください。 ・水道水でも、地方により電解質を多く含む地域があります。このような地域で入浴剤を使用されると、心拍数の計測がさらにしにくくなることがあるため、場合によっては入浴剤を控えて様子を見てください。 ・入浴剤を通常使用より過剰に使用された場合も心拍数を計測しにくくなります。 ・不整脈の激しい方や心疾患のある方（または疑いのある方）は、まれに心拍数を計測しにくい場合があります。 ・浴槽のお湯に汗などが大量にとけ込んでいたり極端にお湯が汚れている場合。 ・浴槽内に金属製のもの（金ダライなど）を入れている場合。 ・浴槽外の金属製のもの（カランなど）に手など体が触れている場合。

入浴していないのに リモコンに心拍数を表示する	＊以下のような場合、入浴していなくてもリモコンに心拍数を表示することがまれにあります。 ・浴槽に湯がない、または心拍センサーがお湯につかっていないときに、「心拍数表示/する」設定をした場合。 ・心拍数表示を「自動」に設定をした場合で、ふろ自動保温中（ふろ自動ランプ点灯中）に、浴槽のお湯の水位が心拍センサーより低くなった場合。 これは、心拍センサーがお湯につかっていないと電磁波などの影響を受けやすくなるためで、故障ではありません。
「心拍数表示/する」設定をすると、「心拍センサー故障」と表示する 	＊心拍センサーの故障 →販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

以下の場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください
・上記の処置をしてもなお現象をくり返すとき
・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P10～12の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- 製品名 ・・・・・・・・・ 心拍計測機能対応システム
- お買い上げ日 ・・・（保証書をご覧ください）
- 異常の状況 ・・・・・（故障表示など、できるだけくわしく）
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障については、有料で修理(修理によって機能が維持できる場合)または交換いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。